

1st day
5.19 Sat.

第37回大会 特別報告

■時間 / 16:30 ~ 17:00 ■会場 / 2F 講堂

テーマ ● 老いてひとりを生き抜く

—暮らしに負けず、自分に負けず、世間に負けず—

報告者 三浦清一郎

2nd day
5.20 Sun.

第37回大会

特別企画 「男女共同参画時代の子どもの発達支援」

■時間 / 9:00 ~ 11:30 ■会場 / 2F 講堂

第1部：9:00~10:10

〈インタビュー・ダイアログ〉

「保教育」を展望する「飯塚プラン」の革新性

登壇者：飯塚市長

元飯塚市教育委員会教育長

聞き手：生涯学習通信「風の便り」編集長

片峯 誠

森本 精造

三浦清一郎

<登壇者プロフィール>



●片峯 誠 飯塚市長

中学校長、飯塚市教育委員会学校教育課長を経て、平成22年5月から飯塚市教育委員会教育長、平成29年2月から飯塚市長。教育長在任中は、小中一貫教育やコミュニティスクールの推進。MIM、徹底反復学習、ITの活用、プログラミング教育等による学力向上への取組。また、全国に先駆け、オンライン英会話システムを導入し、さらに福祉行政の「学童保育」を「学校教育課」主管に変更する。市長就任後も「教育のまちづくり」を市政の重要施策に掲げ奮闘中である。



●森本 精造 元飯塚市教育委員会教育長 サンビレツジ菫理事長

福岡県教育庁社会教育課長、福岡県立社会教育総合センター所長、穂波町教育委員会教育長、飯塚市教育委員会教育長を歴任。穂波町時代、全公立小学校に「子どもマナビ塾」、「熟年者マナビ塾」を導入し、飯塚市では「いづか市民マナビネットワーク」(e-マナビ)など多くの先駆的行政施策の開発を手掛けてきた。退職後は「学童と学校の連携」(学社連携)に奔走。前本交流会代表世話人。

<聞き手>



●三浦清一郎 生涯学習通信「風の便り」編集長

国立社会教育研修所、文部省、福岡教育大学、シラキューズ大学、九州女子大学などを経て、現在月刊生涯学習通信「風の便り」編集長。晩年は執筆に集中し、近著に、「明日の学童保育」(日本地域社会研究所)、「国際結婚の社会学」(同)、「詩歌自分史のすすめ」(同)、「消滅自治体は都会の子が救う」(同)「隠居文化と戦え」(同)などがある。